

ニチレイ健康白書2024 (2023年度実績)



ニチレイグループ健康宣言

「おいしい瞬間を届けたい」

その想いを大切に

ニチレイグループで働く一人ひとりの

健康づくりに取り組みます

(株)ニチレイ人財開発部ウェルビーイング経営推進室

ニチレイ健康保険組合

健康白書発行の目的

ニチレイグループでは、「持続的成長を目指す会社にとって、従業員の健康は重要な経営課題である」との認識のもと2015年度に健康経営の専任部署を新設、2016年度には「ニチレイグループ健康宣言」および「グループ健康管理基準」を制定しました。

持株会社に最高健康推進責任者、グループ内の各事業会社に健康推進責任者・担当者を任命し、ニチレイ健康推進センター、健康保険組合、労働組合が三位一体となった健康経営の取り組みを進めています。

ニチレイ健康白書は、健康リスクの保有状況や生活習慣病のハイリスク分析、ヘルスリテラシーの現状および取り組み状況を見える化することにより、従業員一人ひとりが健康意識を高め、主体的に健康増進に取り組む環境づくりを目指して発行しております。

また、本白書を継続的に発行していくことが健診データや医療費の経年変化を捉え、課題の抽出、改善策の企画・実行、効果検証と更なる対策の立案等、健康経営におけるPDCAサイクルの迅速な回転に資するものと考えます。

カテゴリー内訳

カテゴリー	会社名
食品系	ニチレイフーズ
	ニチレイフレッシュ
低温物流系	ニチレイロジグループ本社
	ニチレイ・ロジスティクス北海道
	ニチレイ・ロジスティクス東北
	キョクレイ
	ニチレイ・ロジスティクス東海
	ニチレイ・ロジスティクス関西
	ニチレイ・ロジスティクス中四国
	ニチレイ・ロジスティクス九州
	NKトランス
	ロジスティクス・ネットワーク
	ニチレイ・ロジスティクスエンジニアリング
管理・その他	ニチレイ
	ニチレイバイオサイエンス

使用データ

- ・被保険者データ 2018～2023年度 P1
- ・特定健康診査 2020～2023年度 P1～P10
- ・特定保健指導 2019～2022年度 P11
- ・医療費データ 2020～2023年度 P12～P13

目次

被保険者数の状況、特定健康診査の受診状況	1
健康リスクの保有状況	2
ヘルスリテラシーの状況	6
特定保健指導の状況	11
生活習慣病の医療費の状況	12
メンタル系疾患の状況	13
健康経営に関連する各指標の実績値	14
解説	15
参考	15

被保険者数の状況、特定健康診査の受診状況

ニチレイ健康保健組合被保険者の状況（任意継続被保険者を含む）をお知らせします。

被保険者数の推移（年間平均）

（単位：人）

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
男性	4,149	4,147	4,134	4,131	4,168	4,172
女性	2,299	2,297	2,309	2,305	2,368	2,384
合計	6,448	6,444	6,443	6,436	6,536	6,556

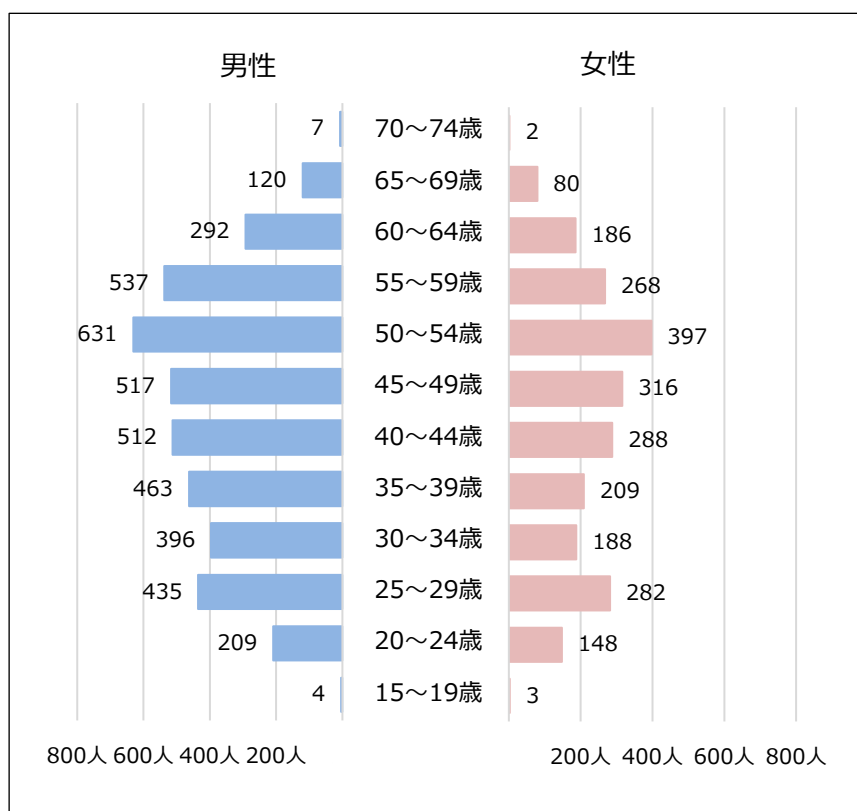
平均年齢推移表

（単位：歳）

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
男性平均	43.10	43.43	43.66	43.62	43.95	44.18
女性平均	43.60	43.94	44.12	43.61	44.13	44.15
平均	43.28	43.61	43.82	43.62	44.02	44.17

被保険者年齢階層男女別人数（2024年3月）

年齢階層	男性	女性	合計
70～74歳	7	2	9
65～69歳	120	80	200
60～64歳	292	186	478
55～59歳	537	268	805
50～54歳	631	397	1028
45～49歳	517	316	833
40～44歳	512	288	800
35～39歳	463	209	672
30～34歳	396	188	584
25～29歳	435	282	717
20～24歳	209	148	357
15～19歳	4	3	7
合計	4,123	2,367	6,490



特定健康診査受診率

2018年度以降、特定健診受診率は100%を達成しています。

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
全社総合	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※ 健診対象者の母数より2023年4月2日以降入社者、海外・国内出向、休職者、退職者、入社前健診・一般健診受診者を除いております。
また、健診の対象者は全年齢における被保険者となっております。
国の定めと異なり（通常は40歳以上）、ニチレイでは全年齢層に特定健康診査を実施しています。

（参考）

「特定健康診査受診率」被保険者：90.5%
（厚生労働省データ：40歳以上）

<用語の解説>

- ・特定健康診査：メタボリックシンドロームに着目した健診で、生活習慣病を早期発見し、重症化を防ぐことが目的。
- ・被保険者数：組合に加入する本人の人数。

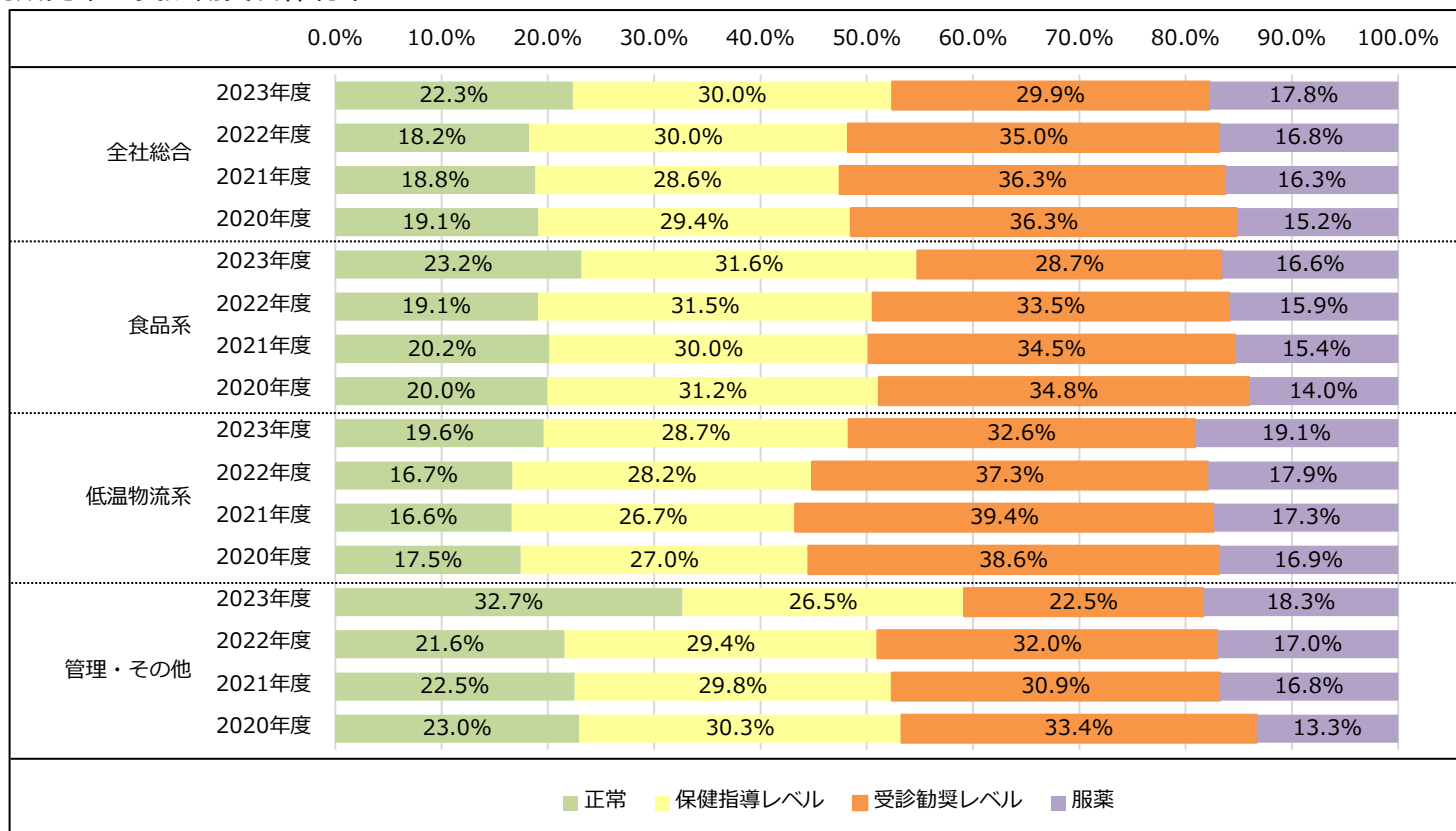
健康リスクの保有状況①

特定健康診査について、受診者の有所見状況をお知らせします。

【取り組み状況】

有所見者に対する、事後措置の徹底等により正常な状態に回復した人や服薬治療を行っている人の割合が増加しています。しかし、依然として、保健指導レベル、受診勧奨レベルに該当する人の割合が高い状況です。精密検査補助金制度の創設や特定保健指導、保健師面談の実施等、有所見率を低下させる取り組みを継続しています。

有所見率と受診勧奨者保有率



※ 上記のグラフにおいて、下記の「有所見値の判定基準」にて、血圧・血糖・脂質のうち「保健指導レベル」に該当する方と「受診勧奨レベル」に該当する方を表記しております。また、問診票において服薬と回答した方を、別途「服薬」と表記しております。

【判定基準】 有所見値の判定基準

	健診項目	保健指導レベル	受診勧奨レベル
血圧	収縮期血圧	130～139mmHg	140mmHg以上
	拡張期血圧	85～89mmHg	90mmHg以上
血糖	空腹時血糖	100～125mg/dl	126mg/dl以上
	HbA1c(NGSP)	5.6～6.4%	6.5%以上
脂質	LDLコレステロール	120～139mg/dl	140mg/dl以上
	HDLコレステロール	35～39mg/dl	34mg/dl以下
	中性脂肪	150～299mg/dl	300mg/dl以上

<用語の解説>

- ・ 受診勧奨者保有率 : 健診受診者のうち、保健指導レベル、受診勧奨レベルの方が含まれる割合。
- ・ 受診勧奨レベル : 健診受診者のうち、受診勧奨レベルに該当する人数の割合。(計算式) $(\text{受診勧奨レベル者} \div \text{健診受診者}) \times 100$
- ・ 保健指導レベル : 健診受診者のうち、保健指導レベルに該当する人数の割合。(計算式) $(\text{保健指導レベル者} \div \text{健診受診者}) \times 100$
- ・ 服薬 : 健診受診者のうち、服薬に該当する人数の割合。(計算式) $(\text{服薬者} \div \text{健診受診者}) \times 100$
- ・ 正常 : 健診受診者のうち、血圧・血糖・脂質が正常な方の割合。(計算式) $(\text{正常者} \div \text{健診受診者}) \times 100$
- ・ 健康リスク : 人の健康に生じる障害、またはその重大性。
- ・ 有所見 : 健診や診療の結果、正常ではない状態。

健康リスクの保有状況② — 血圧 —

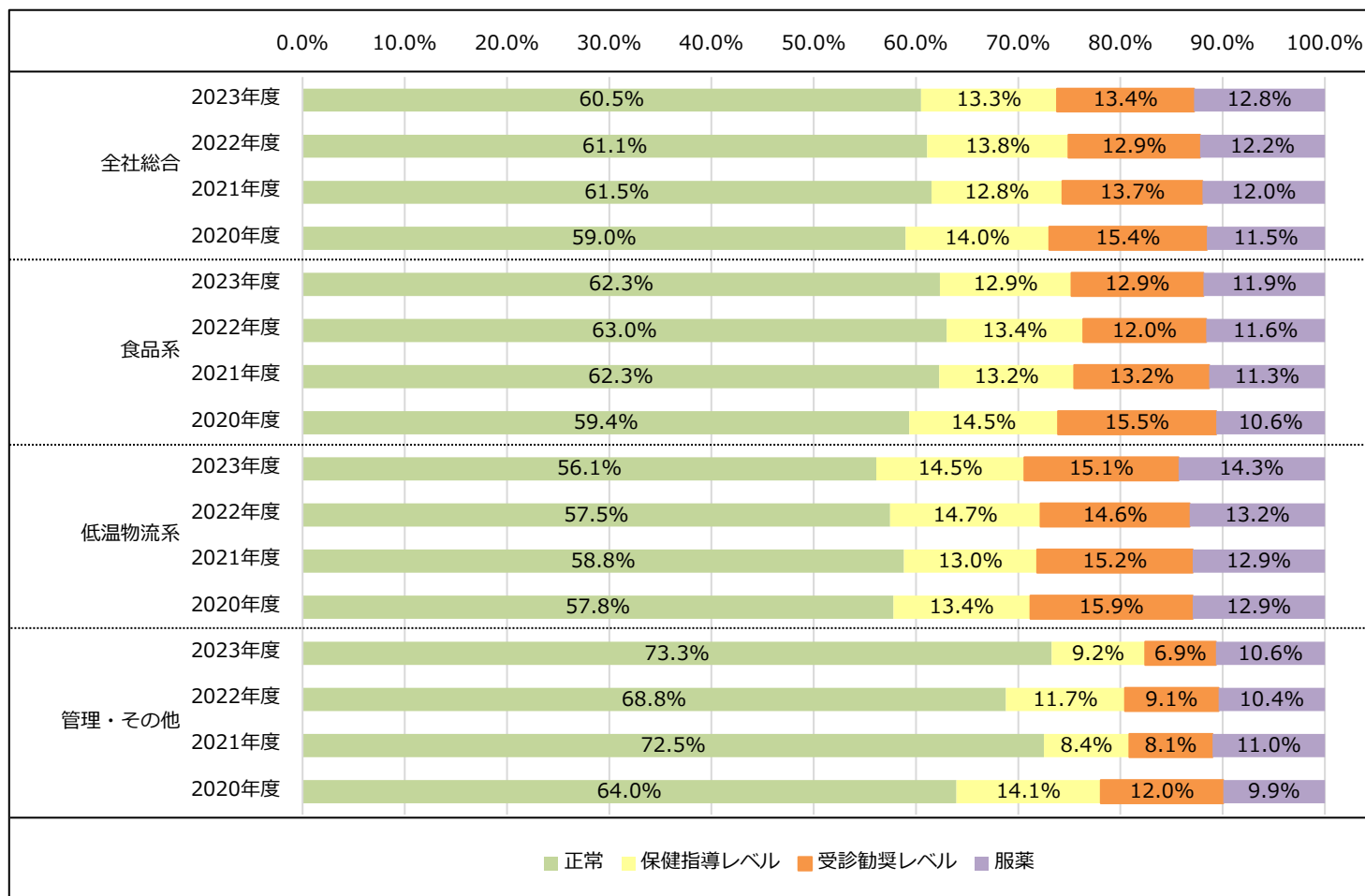
特定健康診査における、血圧の有所見率をお知らせします。

【取り組み状況】

従業員の健康づくりの実践の場として2016年から『ニチレイ健康塾』を開催しています。『血圧』をテーマとした回では高血圧予備軍の方を対象に、保健師による高血圧を予防する食事、管理栄養士による減塩の工夫や食べ方、理学療法士による効果的な運動指導等を実施しました。2020年からは、全国の従業員が同時に参加できるオンライン形式で実施しています。

より多くの従業員の健康意識の向上に繋がるよう、今後も継続していきます。

特定健康診査有所見率



(参考)

「受診勧奨者保有率」：19.4%
(健保連 統計データ：40歳以上)

【判定基準】 健診結果高リスク者の判定基準

	健診項目	保健指導レベル	受診勧奨レベル
血圧	収縮期血圧	130~139mmHg	140mmHg以上
	拡張期血圧	85~89mmHg	90mmHg以上

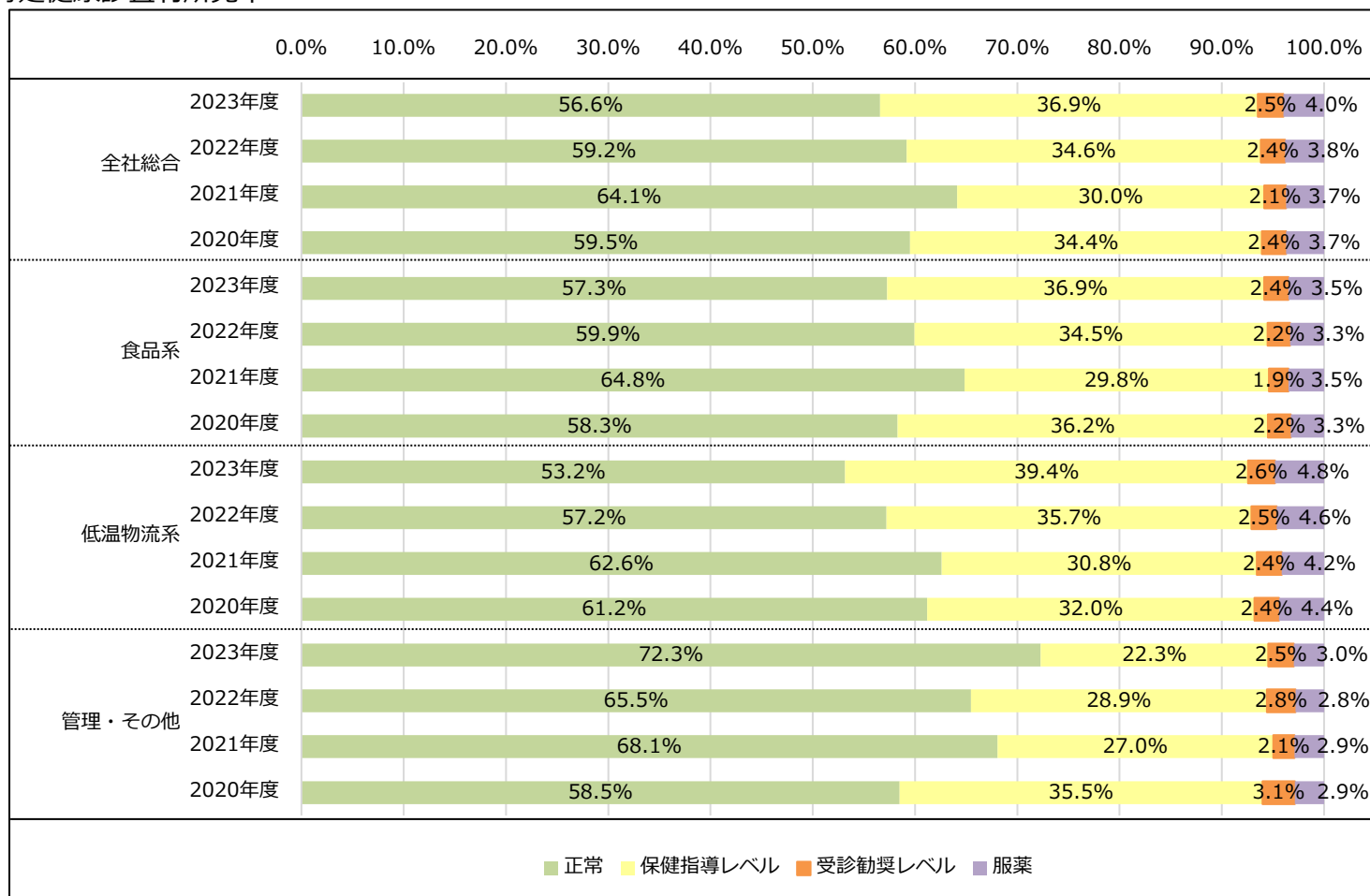
健康リスクの保有状況② — 血糖 —

特定健康診査における、血糖の有所見率をお知らせします。

【取り組み状況】

高血糖予備軍の方を対象に『血糖』をテーマとした『ニチレイ健康塾』を開催し、保健師による高血糖予防方法の解説、管理栄養士による血糖コントロールの秘訣や食べる順番等の食事指導、理学療法士による効果的なストレッチ等を紹介しました。2023年度末までに『ニチレイ健康塾』参加者はのべ9,505名となりました。今後も従業員の健康づくりの実践の場として取り組みを継続していきます。

特定健康診査有所見率



(参考)

「受診勧奨者保有率」：5.4%
(健保連 統計データ：40歳以上)

【判定基準】 健診結果高リスク者の判定基準

	健診項目	保健指導レベル	受診勧奨レベル
血糖	空腹時血糖	100~125mg/dl	126mg/dl以上
	HbA1c(NGSP)	5.6~6.4%	6.5%以上

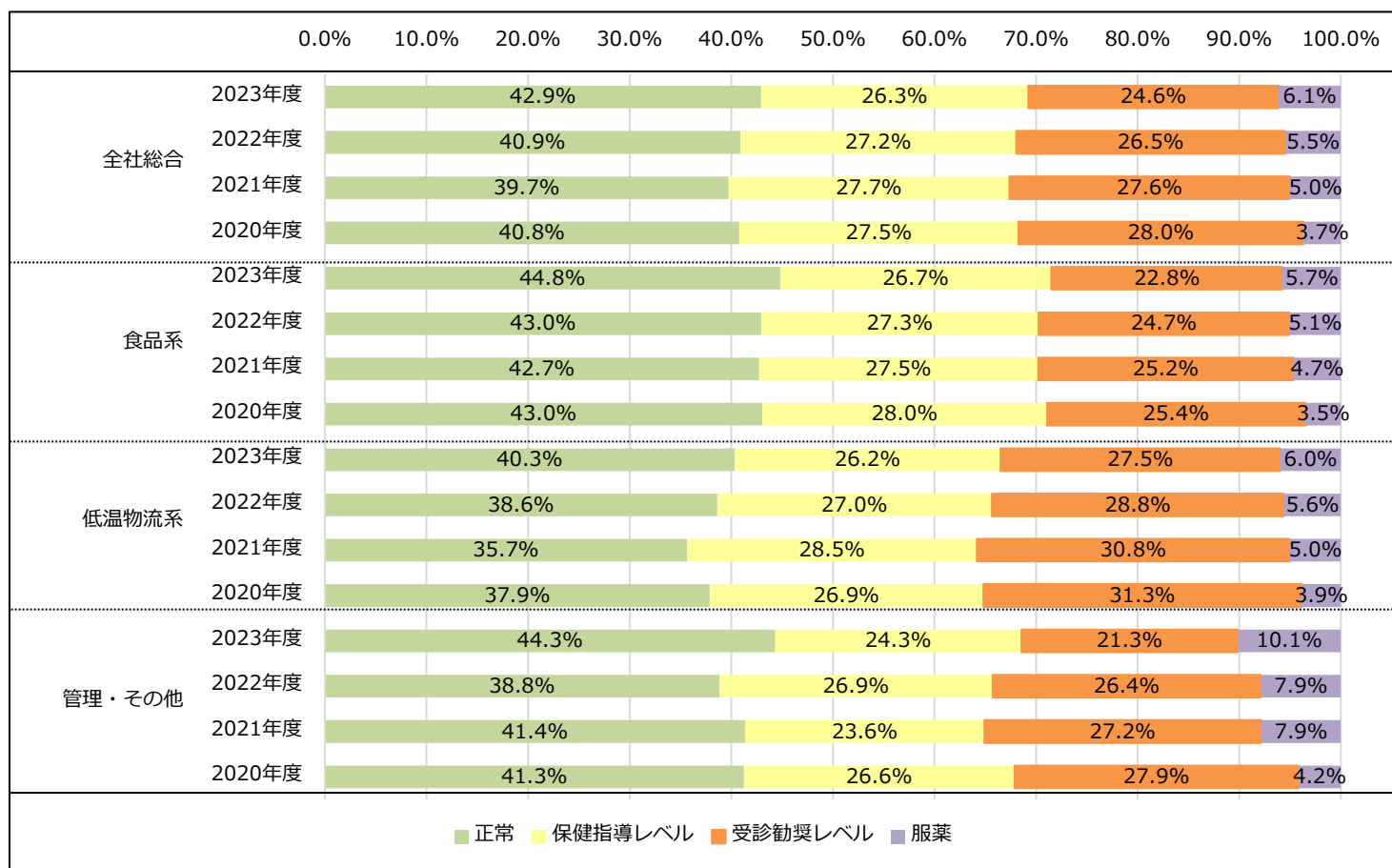
健康リスクの保有状況② — 脂質 —

特定健康診査における、脂質の有所見率をお知らせします。

【取り組み状況】

コレステロールが高めの方を対象に『脂質～しなやか血管を保つために～』をテーマとした『ニチレイ健康塾』を開催しています。保健師より「動脈硬化とは何か」、「しなやか血管を保つ必要性」や「食事のとり方の工夫」、理学療法士より脂質異常予防に効果的な運動等を紹介しました。ニチレイフーズの冷凍おかずセット『きくばりごぜん™』等を活用し管理栄養士から味付けの工夫等も解説しています。
一人ひとりの健康づくりの取り組みが継続できるよう、受講後、一定期間経過後にメールでのフォローも実施しています。

特定健康診査有所見率



(参考)

「受診勧奨者保有率」：31.0%
(健保連 統計データ：40歳以上)

【判定基準】 健診結果高リスク者の判定基準

	健診項目	保健指導レベル	受診勧奨レベル
脂質	LDLコレステロール	120~139mg/dl	140mg/dl以上
	HDLコレステロール	35~39mg/dl	34mg/dl以下
	中性脂肪	150~299mg/dl	300mg/dl以上

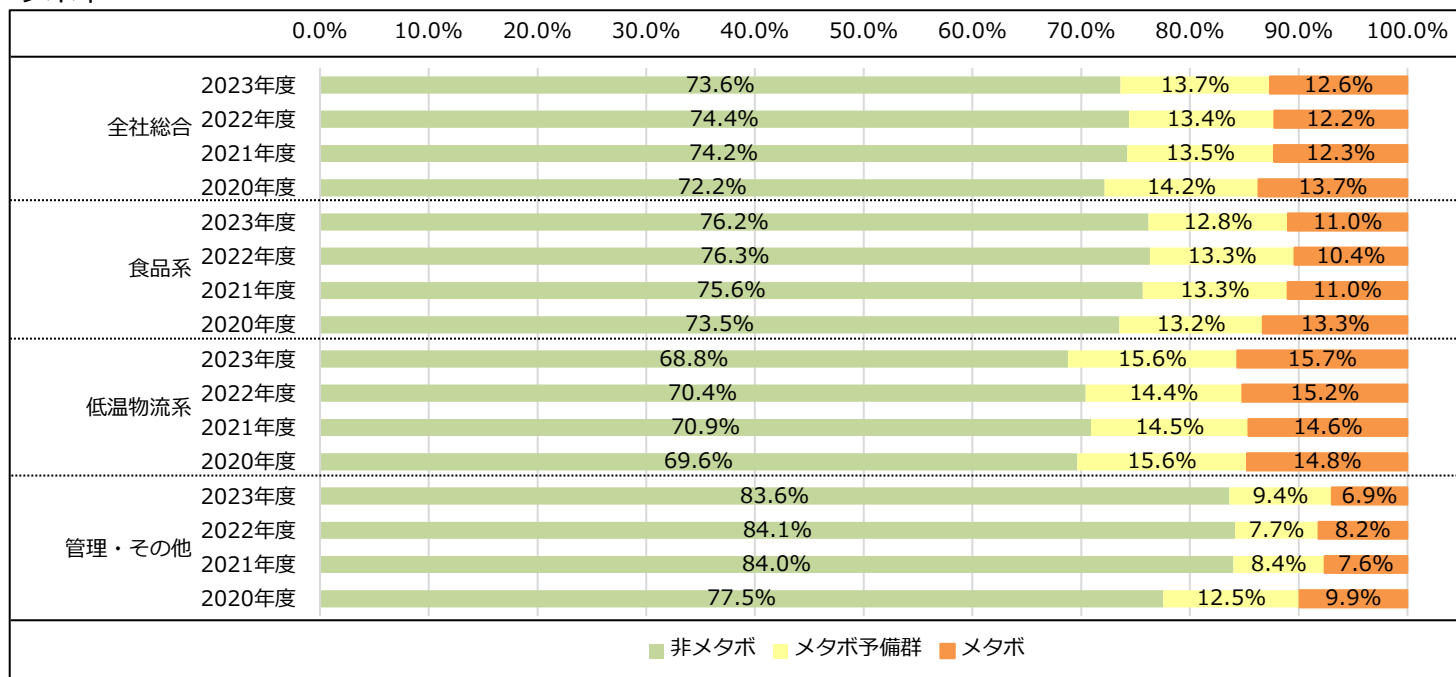
ヘルスリテラシーの状況 — メタボ率 —

特定健康診査における、受診者のメタボ率をお知らせします。

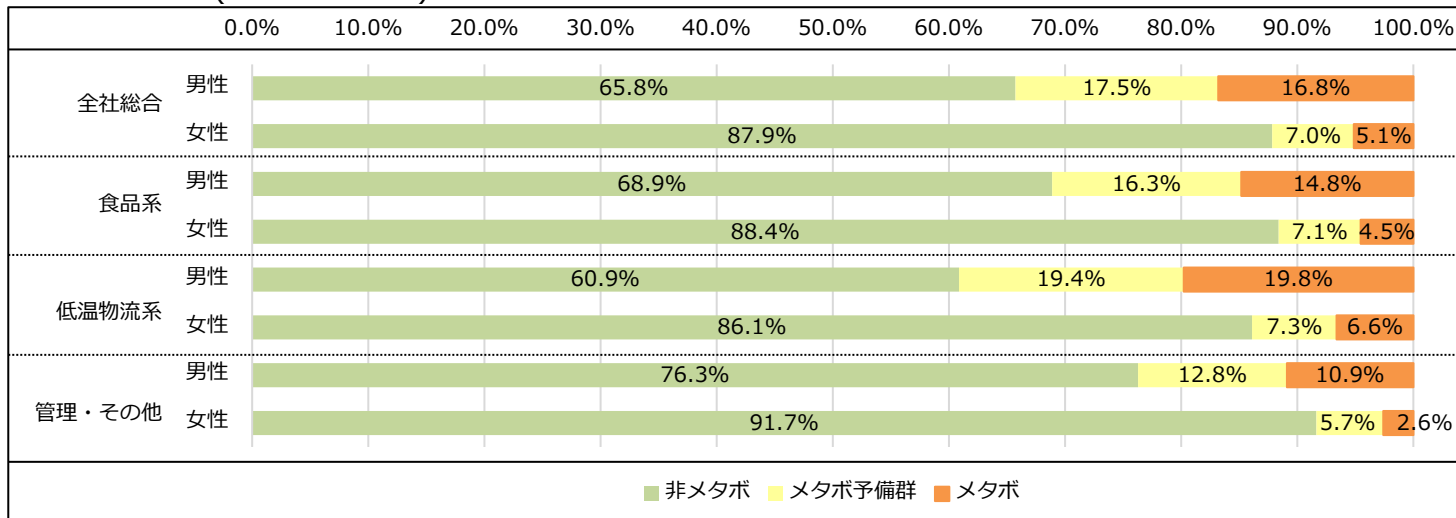
【取り組み状況】

メタボリック症候群は生活習慣病悪化のリスク要因でもあり早めの改善が望まれます。ニチレイフーズの冷凍おかずセット『きくばりごぜん™』等を活用した特定保健指導の実施やニチレイ健康塾特別セミナー・RIZAP健康セミナー等を開催しメタボリック症候群の減少を目指しています。

メタボ率



男女別 メタボ率 (2023年度実績)



(参考)

「メタボ率」 男性：21.7% 女性：5.1%
 「メタボ予備群率」 男性：18.1% 女性：5.7%
 (健保連 統計データ：40歳以上)

<用語の解説>

- ・メタボ : 腹囲が男性85cm以上、女性90cm以上で3つの項目(血圧・血糖・脂質)のうち2つ以上の項目に該当する者。
- ・メタボ予備群 : 腹囲が男性85cm以上、女性90cm以上で3つの項目(血圧・血糖・脂質)のうち1つに該当する者。
- ・ヘルスリテラシー : 健康面での適切な意思決定に必要な情報やサービスを調べ、効率的に利用する個人的能力の程度のこと。

ヘルスリテラシーの状況 — 喫煙率 —

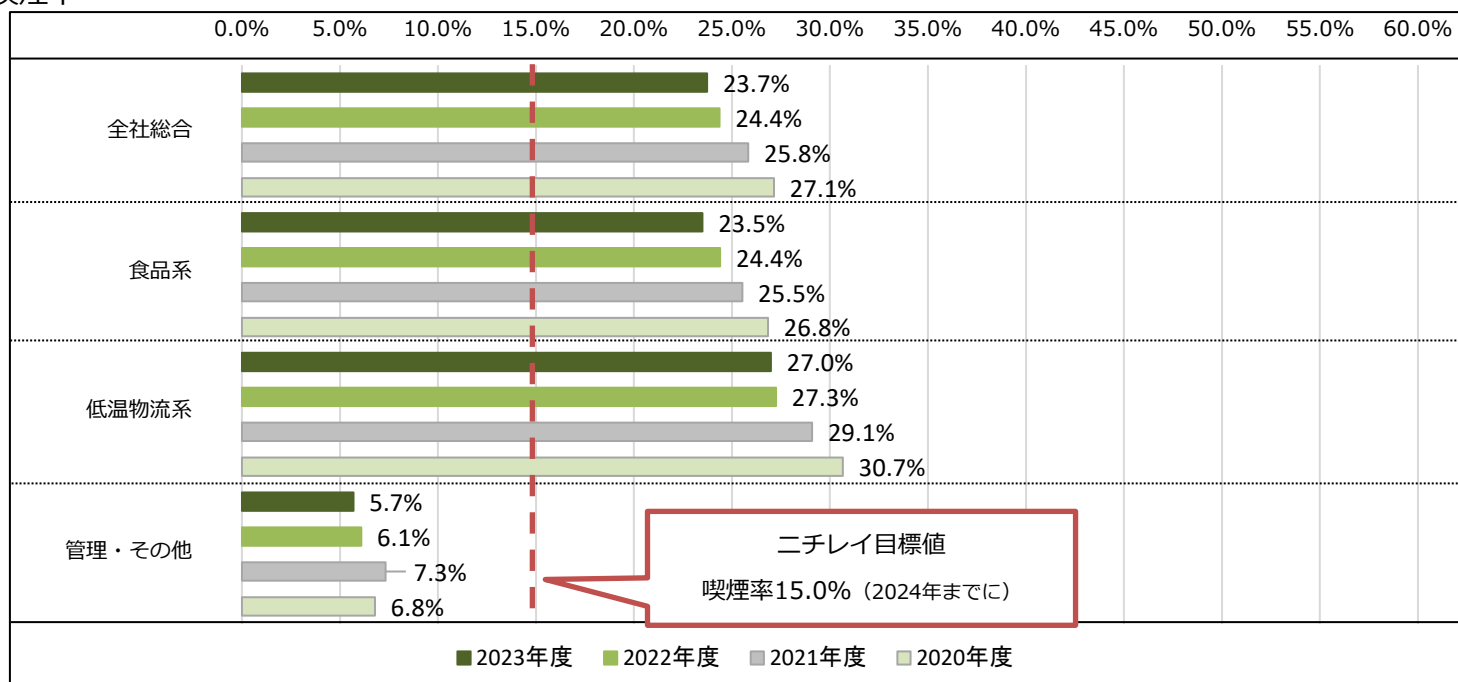
特定健康診査問診項目から、受診者の喫煙率をお知らせします。

【取り組み状況】

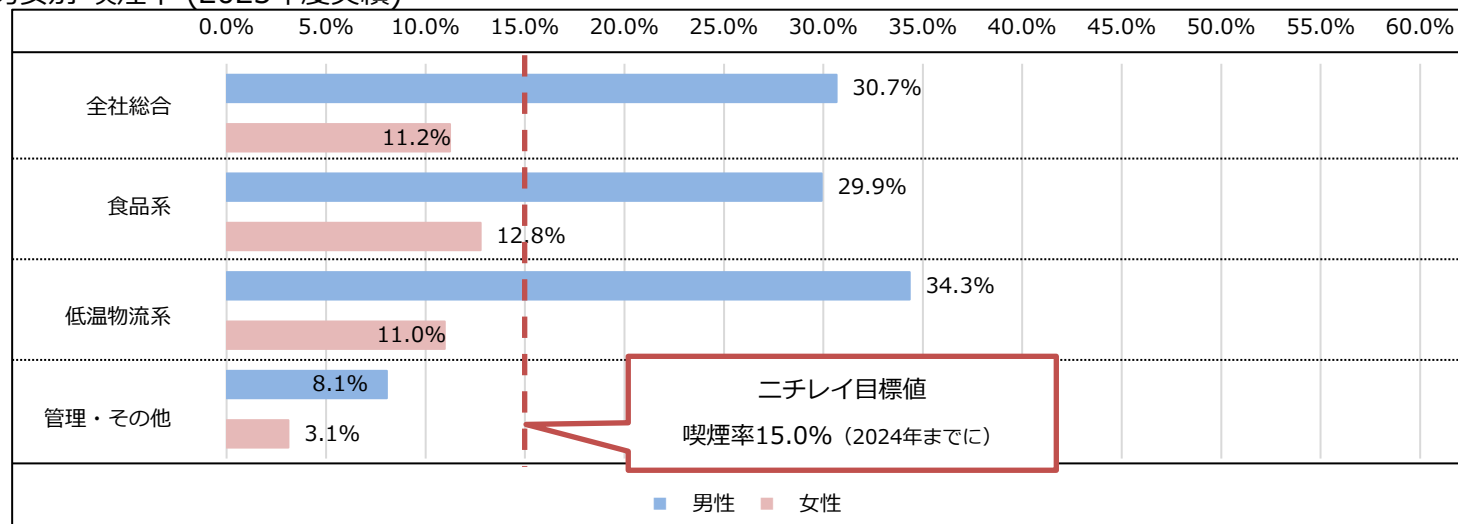
望まない受動喫煙を防止し、従業員一人ひとりが働きやすい環境をつくることを目的に受動喫煙防止対策に取り組んでいます。環境整備として2022年4月から国内全事業場での就業時間内禁煙を開始、2023年3月末までに国内全事業場の屋内喫煙所を廃止しました。教育面ではe-ラーニングや動画の配信を行っています。併せて禁煙希望者に対する卒煙支援の充実を図り、卒煙プログラムの実施や禁煙外来補助等により希望者を幅広くバックアップしています。

「喫煙：現在、たばこを習慣的に吸っている。」に「はい」と回答した方

喫煙率



男女別 喫煙率 (2023年度実績)



【KPI：喫煙率】

- * 喫煙率：定期健診問診票「現在、たばこを習慣的に吸っている。」に「はい」と回答（ニチレイ健康保険組合被保険者）（2023年度 定期健康診断結果）
- * 目標数値（KPI）：2019年度からの中期経営計画にて設定

2018年 29.8% → 2019年 25.0% → 2020年 20.0% → 2024年 15.0%

(参考)

「喫煙率」男性：31.4% 女性：10.4%
(健保連 統計データ：40歳以上)

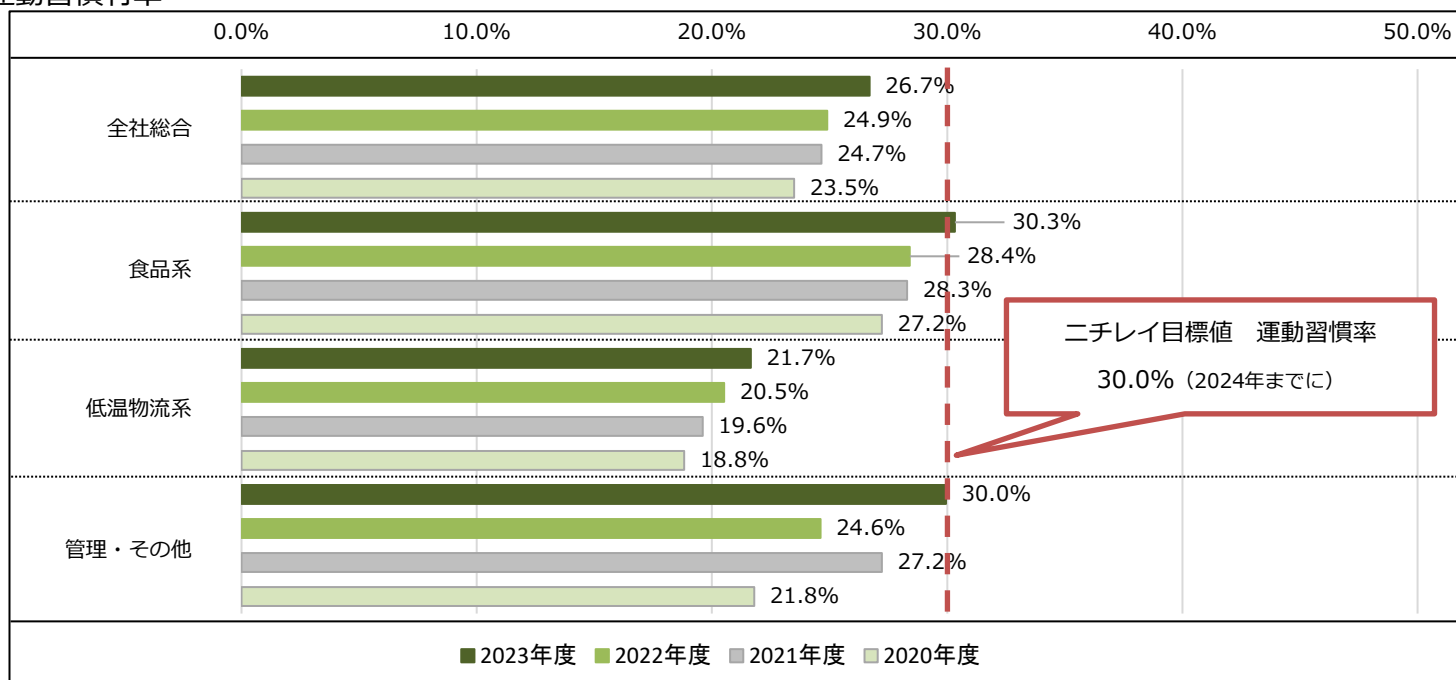
ヘルスリテラシーの状況 — 運動習慣 —

特定健康診査問診項目から、受診者の運動習慣をお知らせします。

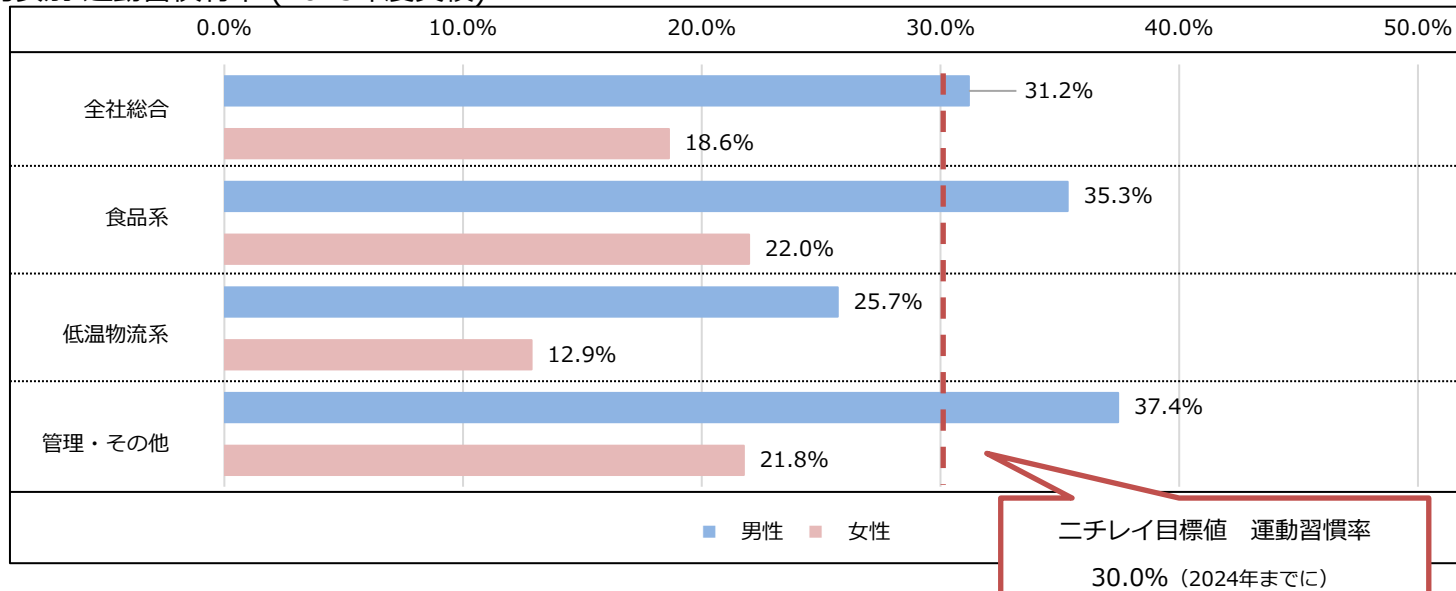
運動習慣有率は少しずつ上昇していますが、女性の運動習慣有率がまだ低い状況です。

「運動習慣：1回30分以上の軽く汗をかく運動を、週2回、1年以上行っている。」に「はい」と回答した方

運動習慣有率



男女別 運動習慣有率 (2023年度実績)



(参考)

「運動習慣有率」男性：27.9% 女性：19.9%
(健保連 統計データ：40歳以上)

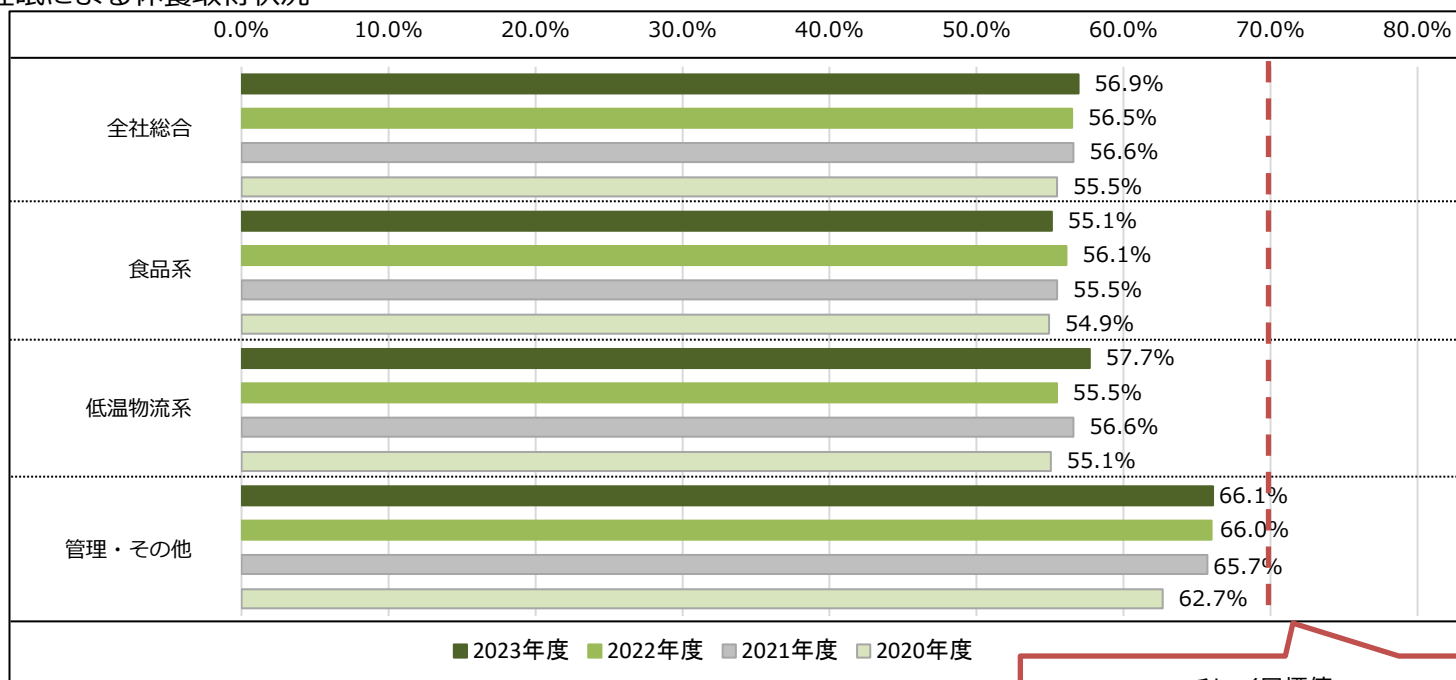
ヘルスリテラシーの状況 — 睡眠 —

特定健康診査問診項目から、受診者の睡眠状況をお知らせします。

「十分に睡眠がとれている」率は少しずつ改善されていますが、まだ健保連続計データと比べると低いことが分かります。

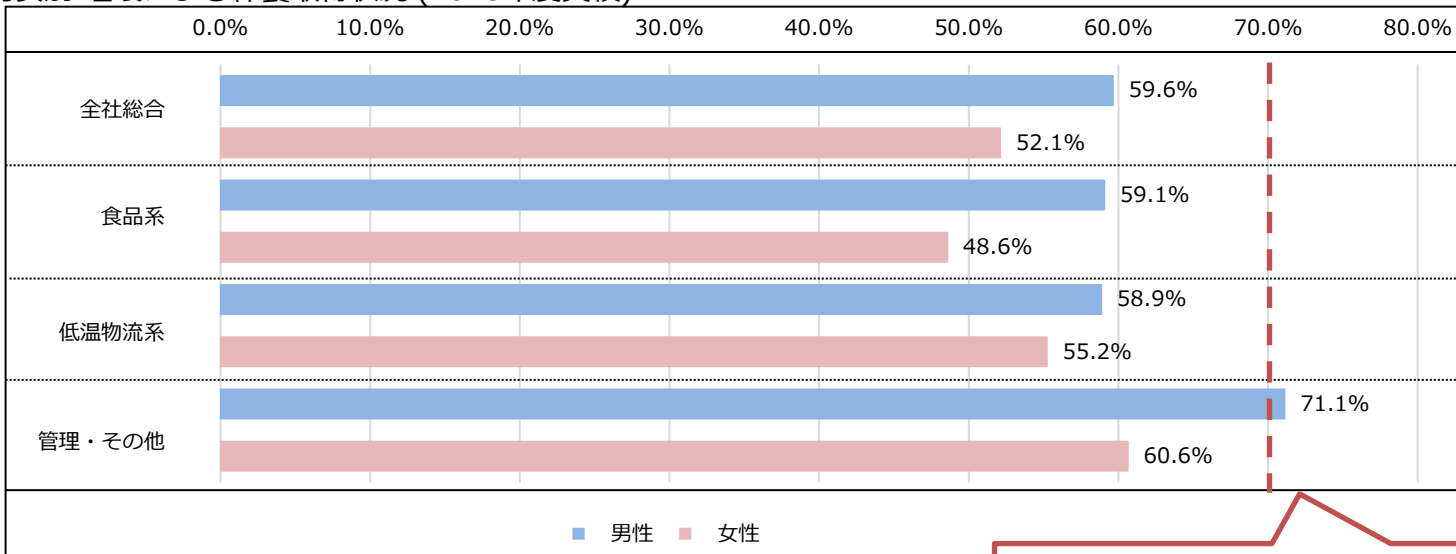
「睡眠状況：睡眠で休養が十分とれている。」に「はい」と回答した方

睡眠による休養取得状況



ニチレイ目標値
良好な睡眠率 70.0% (2024年までに)

男女別 睡眠による休養取得状況 (2023年度実績)



ニチレイ目標値
良好な睡眠率 70.0% (2024年までに)

(参考)
「睡眠で休養が十分にとれている」男性：65.1% 女性：60.9%
(健保連 統計データ：40歳以上)

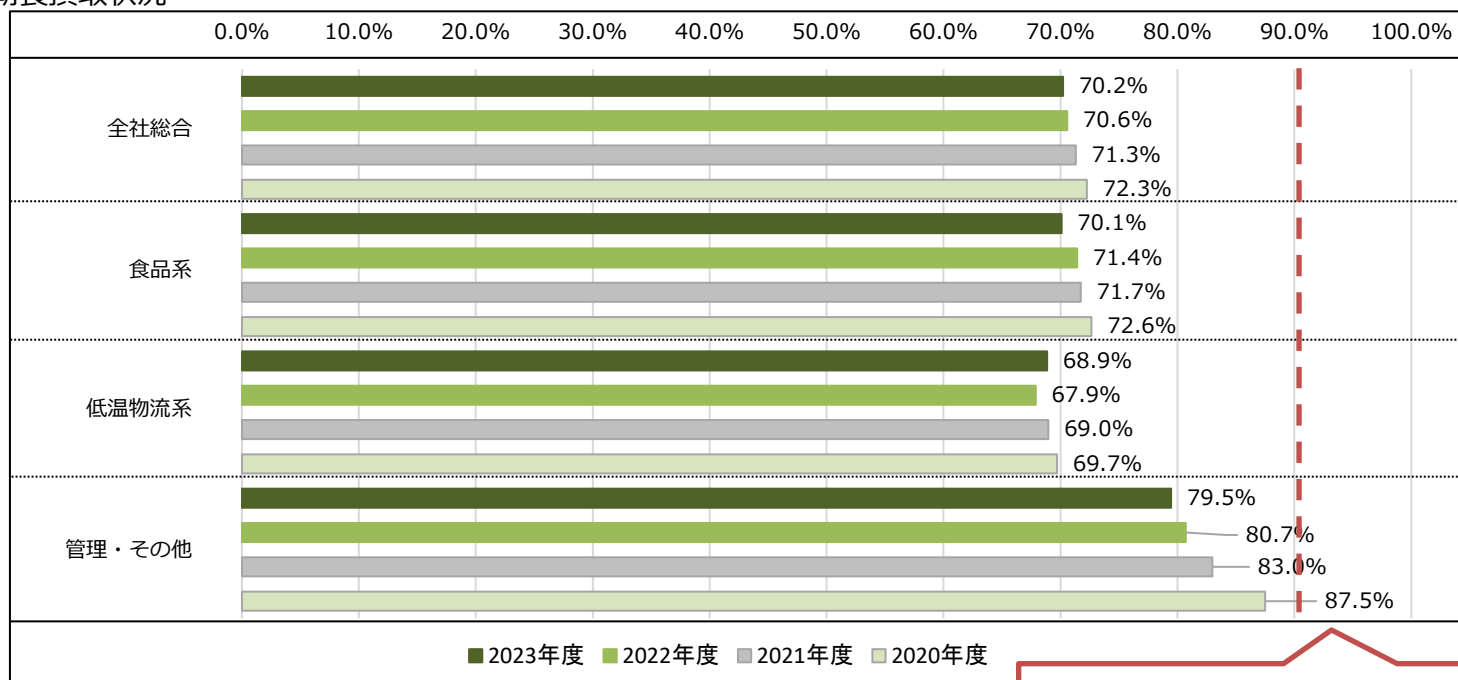
ヘルスリテラシーの状況 — 食事 —

特定健康診査問診項目から、受診者の朝食摂取状況をお知らせします。

特に男性の朝食摂取率が低いことがわかります。

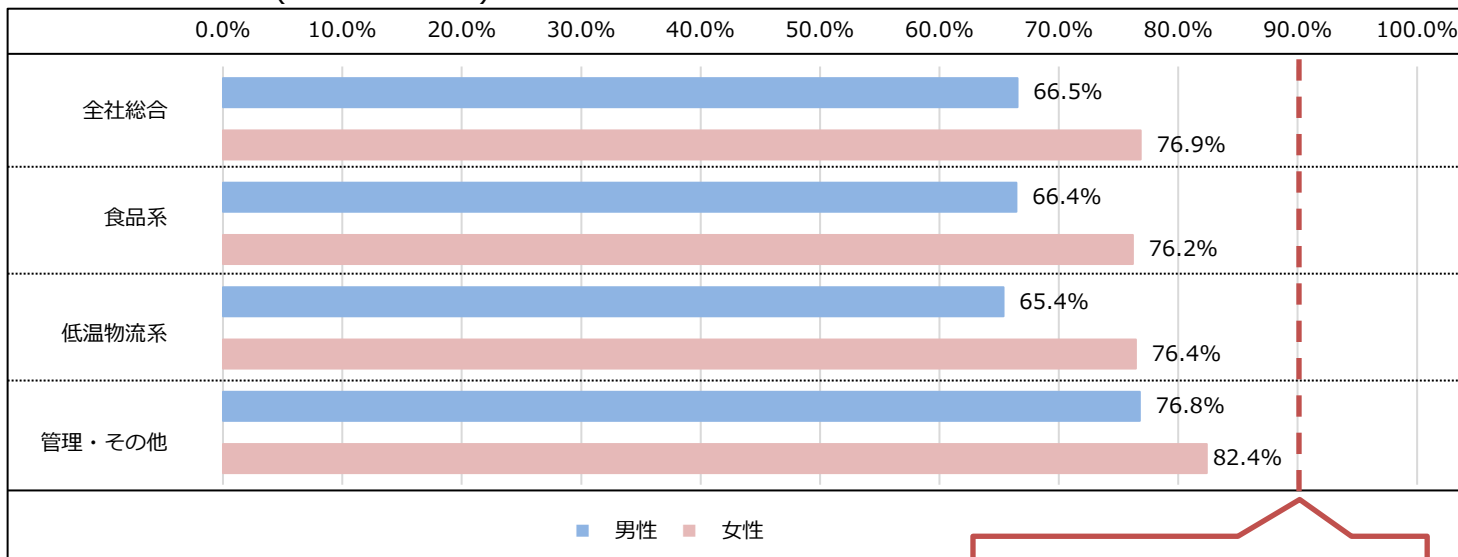
「食事：朝食を抜くことが週に3回以上ある。」に「いいえ」と回答した方

朝食摂取状況



ニチレイ目標値
朝食摂取率 90.0% (2024年までに)

男女別 朝食摂取状況 (2023年度実績)



ニチレイ目標値
朝食摂取率 90.0% (2024年までに)

(参考)
「朝食を抜くことがない」男性：75.7% 女性：83.6%
(健保連 統計データ：40歳以上)

特定保健指導の状況

被保険者の特定保健指導について、結果をお知らせします。

参加率（実施率）・終了率は、国への提出要件である40歳以上被保険者の対象者のみを算出しました。

前年度参加者を除外しているため、参加対象者が年々減少しています。

また、2017年度からは重症化予防事業を行ったため、治療優先者・服薬者を参加対象者から除外しています。

2022年度	対象者数(人)	実施者数(人)	終了者数(人)	実施率(%)	実施者終了率(%)	対象者終了率(%)
全社総合	774	212	188	27.4%	88.7%	24.3%
食品系	389	98	79	25.2%	80.6%	20.3%
低温物流系	345	95	90	27.5%	94.7%	26.1%
管理・その他	40	19	19	47.5%	100.0%	47.5%

指導期間：2022年12月～2023年10月

2021年度	対象者数(人)	実施者数(人)	終了者数(人)	実施率(%)	実施者終了率(%)	対象者終了率(%)
全社総合	764	257	233	33.6%	90.7%	30.5%
食品系	398	122	107	30.7%	87.7%	26.9%
低温物流系	333	122	113	36.6%	92.6%	33.9%
管理・その他	33	13	13	39.4%	100.0%	39.4%

指導期間：2021年12月～2022年10月

2020年度	対象者数(人)	実施者数(人)	終了者数(人)	実施率(%)	実施者終了率(%)	対象者終了率(%)
全社総合	829	269	241	32.4%	89.6%	29.1%
食品系	436	132	121	30.3%	91.7%	27.8%
低温物流系	344	109	92	31.7%	84.4%	26.7%
管理・その他	49	28	28	57.1%	100.0%	57.1%

指導期間：2020年12月～2021年10月

2019年度	対象者数(人)	実施者数(人)	終了者数(人)	実施率(%)	実施者終了率(%)	対象者終了率(%)
全社総合	767	293	283	38.2%	96.6%	36.9%
食品系	411	123	119	29.9%	96.7%	29.0%
低温物流系	323	157	151	48.6%	96.2%	46.7%
管理・その他	33	13	13	39.4%	100.0%	39.4%

指導期間：2019年12月～2020年10月

(参考)

「保健指導対象者終了率」被保険者：34.1%

(健保連 統計データ：40歳以上)

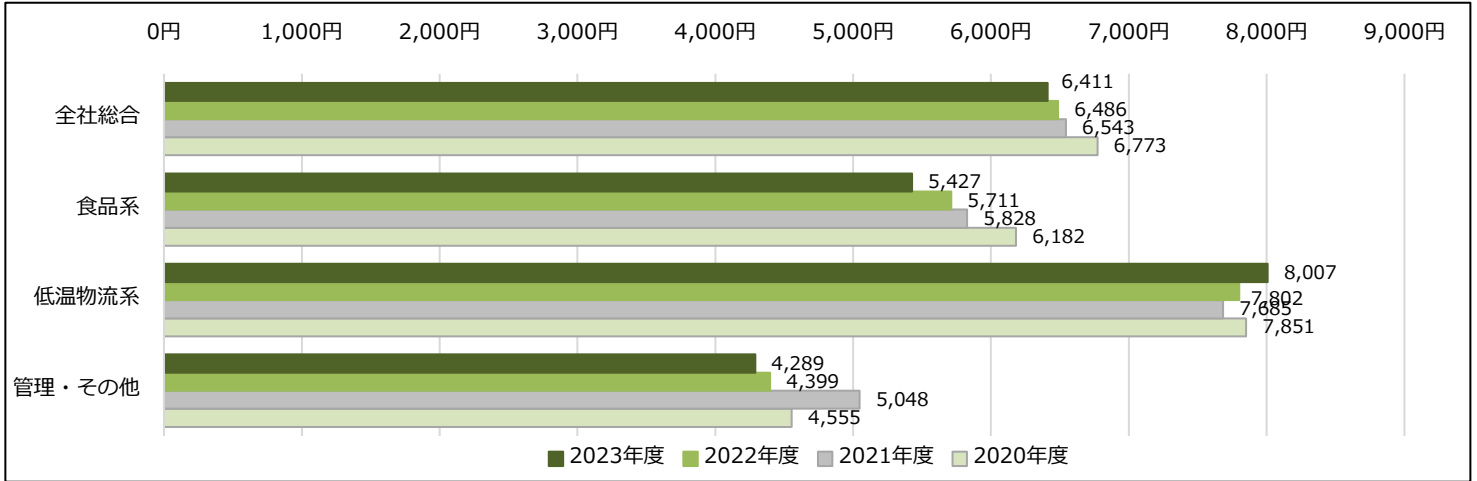
<用語の解説>

- ・特定保健指導：特定健康診査にて、対象者が自分の健康状態を自覚し、生活習慣改善の取り組みを自主的に実施できるようにする支援。
※保健指導の対象者は、30歳以上を対象としております。また、服薬をしている方は対象者から除外しております。
- ・保健指導実施率：保健指導対象者のうち、保健指導を実施した人数の割合。
(計算式) $(\text{保健指導実施者数} \div \text{保健指導対象者数}) \times 100$
- ・保健指導実施者終了率：保健指導実施者のうち、保健指導を終了した人数の割合。
(計算式) $(\text{保健指導終了者数} \div \text{保健指導実施者数}) \times 100$
- ・保健指導対象者終了率：保健指導対象者のうち、保健指導を終了した人数の割合。
(計算式) $(\text{保健指導終了者数} \div \text{保健指導対象者数}) \times 100$

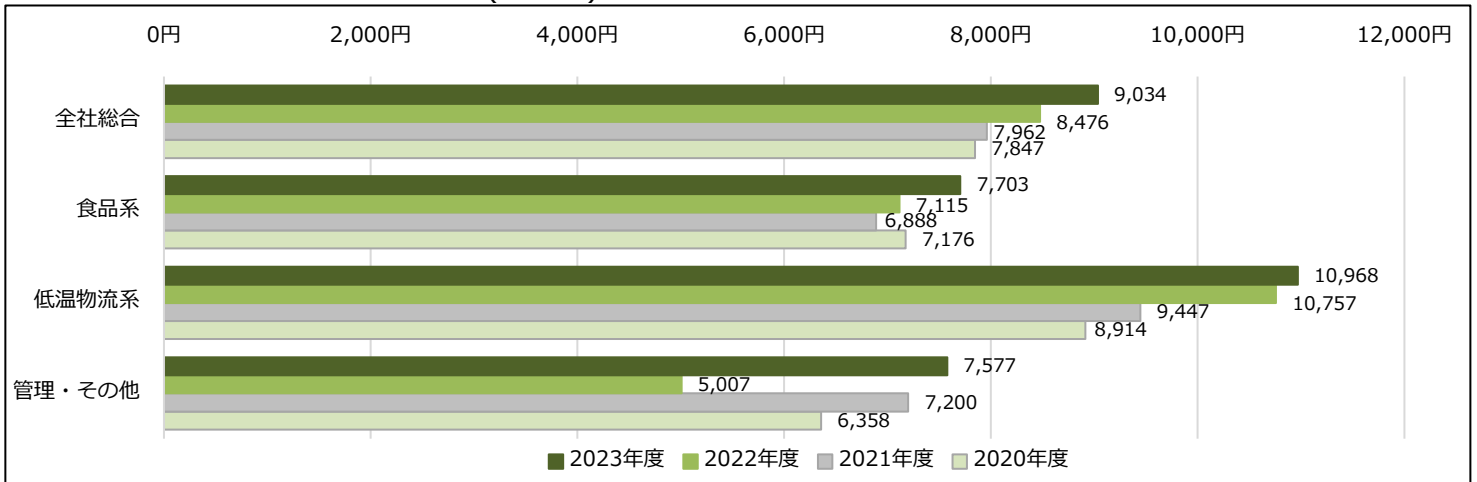
生活習慣病の医療費の状況

生活習慣病3疾患における医療費の状況についてお知らせします。

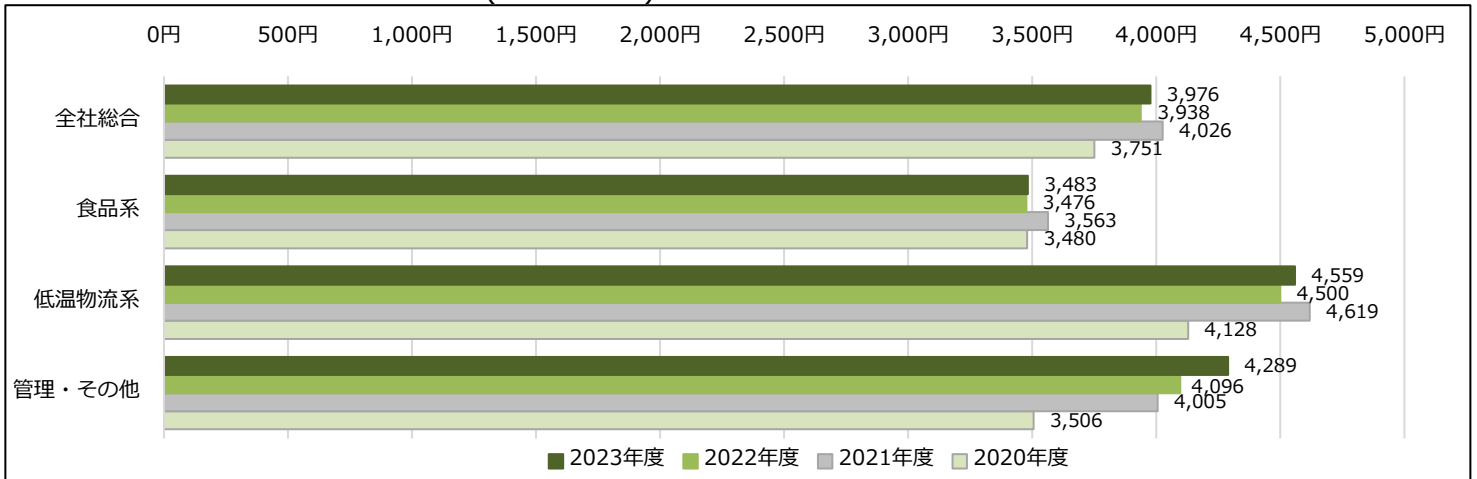
生活習慣病における1人当たり医療費(高血圧性疾患)



生活習慣病における1人当たり医療費(糖尿病)



生活習慣病における1人当たり医療費(脂質異常症)



(参考)

被保険者1人当たり医療費(入院・外来含む)

「高血圧性疾患」 : 5,144円

「糖尿病」 : 7,335円

「脂質異常症」 : 3,561円

(健保連 統計データ)

メンタル系疾患の状況

メンタル系疾患の状況をお知らせします。

メンタル系疾患は「感情障害」、「神経症, ストレス障害」の集計結果を表記しております。

医療費と受診者の状況

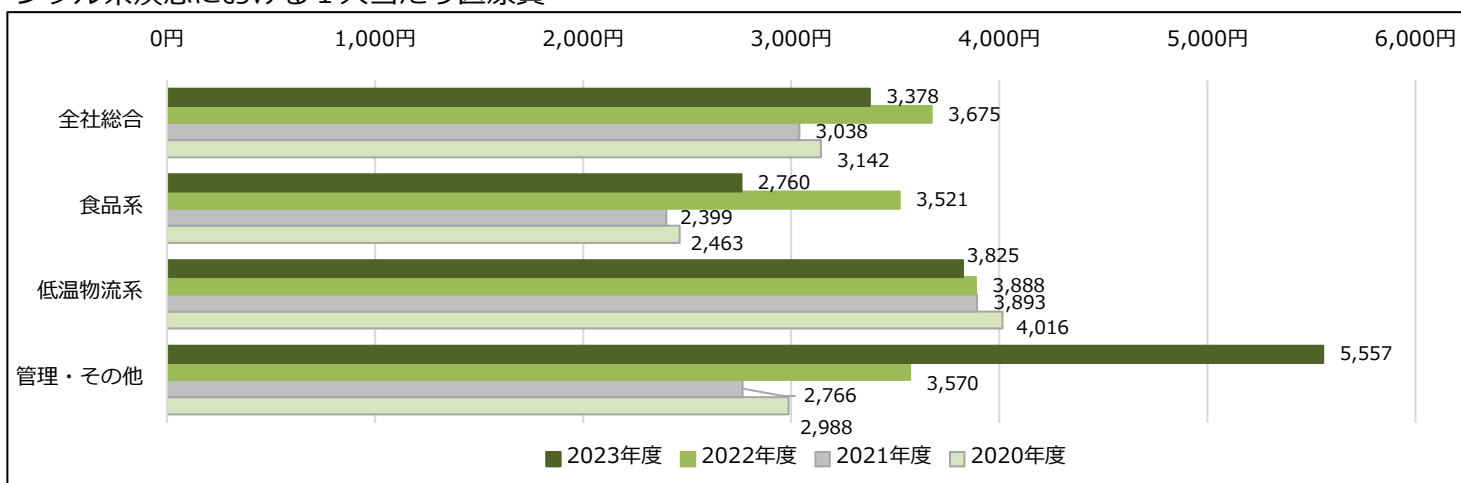
2023年度	被保険者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	医療費(円)	被保険者1人当たり 医療費(円)
全社総合	6,347	559	8.8	21,442,170	3,378
食品系	3,332	277	8.3	9,196,900	2,760
低温物流系	2,603	244	9.4	9,955,750	3,825
管理・その他	412	38	9.2	2,289,520	5,557

2022年度	被保険者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	医療費(円)	被保険者1人当たり 医療費(円)
全社総合	6,377	509	8.0	23,436,890	3,675
食品系	3,338	246	7.4	11,752,570	3,521
低温物流系	2,624	230	8.8	10,202,630	3,888
管理・その他	415	33	8.0	1,481,690	3,570

2021年度	被保険者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	医療費(円)	被保険者1人当たり 医療費(円)
全社総合	6,254	483	7.7	19,000,670	3,038
食品系	3,279	227	6.9	7,866,880	2,399
低温物流系	2,577	228	8.8	10,033,040	3,893
管理・その他	398	28	7.0	1,100,750	2,766

2020年度	被保険者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	医療費(円)	被保険者1人当たり 医療費(円)
全社総合	6,282	468	7.4	19,737,980	3,142
食品系	3,272	219	6.7	8,059,870	2,463
低温物流系	2,612	208	8.0	10,489,070	4,016
管理・その他	398	41	10.3	1,189,040	2,988

メンタル系疾患における1人当たり医療費



(参考)

被保険者1人当たり医療費(入院・外来含む)

「気分・感情障害」 : 2,747円

「神経症性障害, ストレス関連障害」 : 691円

(健保連 統計データ)

※2023年度被保険者数について

「一部除外となる会社(143人)」を除いているため
「2023年度被保険者数(全社総合)」と1ページ目の
「被保険者年齢階層男女別人数(2024年3月)の
合計」の被保険者数は異なります。

健康経営に関連する各指標の実績値

グループ従業員に毎年アンケート調査を実施し、健康保持・増進施策の評価改善に活かしています。

健康経営に関連する各指標の実績値

指標	測定尺度	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度
		回答者数 (人)	結果 (平均値)	回答者数 (人)	結果 (平均値)	回答者数 (人)	結果 (平均値)	目標値
ヘルスリテラシー	伝達の・批判的 ヘルスリテラシー尺度	2,057	3.51点	5,349	3.54点	7,200	3.53点	4.00点
プレゼンティーズム	(~2021年度) WFun尺度 (2022年度~) 独自尺度	2,057	14.34点	7,156	79%	7,210	79%	85%
アブセンティーズム	過去1年間に病気（風邪含む）で 会社を休んだ合計日数（年休含む）	—	※	7,111	3.6日	7,163	3.4日	2.6日
ワーク・エンゲージメント	(~2021年度) ユトレヒト職務関与尺度9項目 (2022年度~) 独自尺度（Qraft）	268	29.40点	7,717	49.60点	7,761	49.30点	55.00点
傷病による休職の状況	傷病休職制度利用日数	持株全従業員	0.5日	持株全従業員	1.2日	持株全従業員	0.9日	—

※2021年度測定システム変更のため実績値なし

解説

<P12.生活習慣病の医療費の状況>

- ・被保険者1人当たり医療費
各企業の被保険者1人当たりの年間総医療費。
(計算式) $\frac{\text{各企業の年間総医療費}}{\text{各企業の被保険者数}}$
- ・被保険者1人当たり医療費 全社総合
全社総合における被保険者1人当たりの年間総医療費。
(計算式) $\frac{\text{全社総合の年間医療費}}{\text{全社総合の被保険者数}}$
- ・高血圧性疾患の疾病分類名
本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)、高血圧性心疾患、
高血圧性腎疾患、高血圧性心腎疾患、二次性<続発性>高血圧(症)
- ・脂質異常症の疾病分類名
リポたんぱく<蛋白>代謝障害及びその他の脂(質)血症
- ・糖尿病の疾病分類名
インスリン非依存性糖尿病<NIIDDM>、栄養障害に関連する糖尿病、
その他の明示された糖尿病、詳細不明の糖尿病

<P13.メンタル系疾患の状況>

- ・受診率
各企業の被保険者のうち、医療機関を受診した人数の割合。
- ・受診率 全社総合
全社総合の被保険者のうち、医療機関を受診した人数の割合。
- ・「気分・感情障害」の疾病名
躁病エピソード、双極性感情障害、うつ病エピソード、反復性うつ病性障害、
持続性気分[感情]障害、その他の気分[感情]障害、詳細不明の気分[感情]障害
- ・「神経症性障害、ストレス関連障害」の疾病名
恐怖症性不安障害、その他の不安障害、強迫性障害、
重度ストレスへの反応及び適応障害、解離性[転換性]障害、身体表現性障害、
その他の神経症性障害

参考

<P1.被保険者数の状況、特定健康診査の受診状況>

- ・2022年度の特定健康診査受診者である40~74歳の加入者の健診データをもとに集計を行っているため、本レポートにおける対象者と異なります。
- ・出典：『令和4年度 特定健診・特定保健指導の実施状況』6頁
https://www.kenporen.com/toukei_data/pdf/chosa_r06_06_01.pdf

<P3~P5.健康リスクの保有状況②>

- ・健保連 統計データでは、令和4年度の特定健診受診者 400万6,893人(508組合)における特定健診データをもとに集計を行っているため、本レポートにおける対象者と異なります。
- ・出典：『令和4年度 健診検査値からみた加入者(40-74歳)の健康状態に関する調査』7,9,11頁 (健保連 統計データ 調査分析報告書)
https://www.kenporen.com/toukei_data/pdf/chosa_r06_06_02.pdf

<P6.ヘルスリテラシーの状況 — メタボ率 —>

- ・健保連 統計データでは、令和3年度の506組合の特定健診・特定保健指導データ及びレセプトデータをもとに、被保険者(40-74歳)の生活習慣や健康状態、服薬の状況についてとりまとめたものため、本レポートにおける対象者と異なります。
- ・出典：『令和3年度 業態別にみた被保険者の健康状態に関する調査』48頁~49頁 (健保連 統計データ 調査分析報告書)
https://www.kenporen.com/toukei_data/pdf/chosa_r05_12_03.pdf

<P7~P10.ヘルスリテラシーの状況>

- ・健保連 統計データでは、令和2年度の特定健診受診者 400万6,893人(496組合)の特定健診データをもとに集計を行っているため、本レポートにおける対象者と異なります。
- ・出典：『令和4年度 特定健診の「問診回答」に関する調査』12,14,21,24頁 (健保連 統計データ 調査分析報告書)
https://www.kenporen.com/toukei_data/pdf/chosa_r06_07_02.pdf

<P11.特定保健指導の状況>

- ・健保連 統計データでは、令和3年度の特定保健指導の対象者となった40~74歳の加入者の実施状況をもとに集計を行っているため、本レポートにおける対象者と異なります。
- ・出典：『令和4年度 特定健診・特定保健指導の実施状況』13頁 (健保連 統計データ 調査分析報告書)
https://www.kenporen.com/toukei_data/pdf/chosa_r06_06_01.pdf

<P12.生活習慣病の医療費の状況>

- ・出典：『生活習慣病 医療費、医療費3要素2021健保連.xlsx』 ※本人の数値を抜粋

<P13.メンタル系疾患の状況>

- ・健保連 統計データでは、職場のメンタルヘルス対策の観点から、1,308組合の被保険者(約1,583万人)の「医科」・「調剤」電算処理レセプト(1億3,998万件)をもとに集計を行っているため、本レポートにおける対象者と異なります。
- ・出典：『令和3年度 被保険者のメンタル系疾患の動向に関するレポート』15頁、24頁 (健保連 統計データ 調査分析報告書)
https://www.kenporen.com/toukei_data/pdf/chosa_r05_06_04.pdf

